

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 53′ 38″ 140° 02′ 11″	橋梁ID
北新田5号橋 (フリガナ)キタシンデンゴゴウキョウ	市道23-005号線	千葉県我孫子市北新田2040番2				35.89388, 140.03646
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
千葉県我孫子市	2021.1.28	水路	無	一般道	その他	有(不明)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

株式会社日本インシーク

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅱ	腐食	写真1.主桁0104			
横桁	Ⅰ					
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅱ	その他-土砂堆積	写真2.堅壁0101			
支承部	Ⅱ	腐食	写真1.支承部0102			
その他	Ⅱ	腐食、ゆるみ・脱落、路面の凹凸	写真3.防護柵、写真4.舗装			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	著しい損傷の進行は確認できないが、支承周りの清掃は定期的に行い、腐食進行を抑制する必要がある。支承等部分的な補修を行うことが望まし

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1974年	21m	6.80m
橋梁形式		
単純鋼H桁橋		



終点側

起点側

起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁0104)、支承部0102【判定区分: Ⅱ】	縦壁0101【判定区分: Ⅱ】
<p>【写真-1】</p> 	<p>【写真-2】</p> 
その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】	その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】
<p>【写真-3】</p> 	<p>【写真-4】</p> 